

南和地域公立病院新体制の概要

南和地域の3つの公立病院を1つの救急病院(急性期)と2つの地域医療センター(療養期)に役割分担を行い体制を再構築

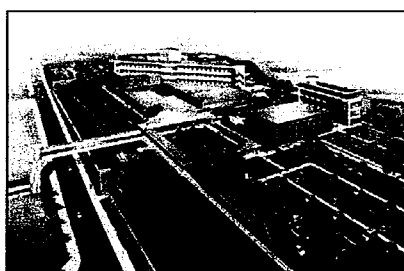
(救急病院(急性期)はH28.3完成、H28.7オープン予定)

がん関係

①早期発見	・健診センターを設置して、がん検診の受診を促進
②地域連携	・医療連携により、がんが疑われる患者の精査やがん患者の治療目的の紹介を推進。
③がん確定診断機能	・消化器病センター及び腎・尿路疾患センターを設置して、消化器領域及び泌尿器領域のがん診療機能を充実。 ・病理診断科を設置して、診断機能の向上を図る。
④がん治療	・専門診療科で対応可能な手術療法に加え、消化器病センターにおいて消化器系のがん治療のため内視鏡的治療・腹腔鏡下手術を積極的に行う。 ・腎・尿路疾患センターにおいて、腎・尿路系のがん治療を行う。 ・化学療法としては、がん化学療法室(5床)を整備して対応。
⑤緩和ケア	・緩和ケアチームを組織して、緩和ケアをがん治療と並行して実施。
⑥在宅医療	・在宅医療支援センターを設置して、緩和ケアを含めた在宅医療を提供。 ・終末期患者には、看取りまで含めた医療提供体制を整備。

<県立医科大学附属病院と連携して対応する医療機能>

- ①高度な検査(PET(陽電子放出断層撮影)検査など)
- ②放射線療法(リニアックなど)
- ③高度な手術と術後管理



救急病院(急性期)(イメージ)
大淀町福神地区に新設



地域医療センター(療養期)
国保吉野病院を改修



地域医療センター(療養期)
県立五條病院を改修